

1.2GHz帯における潜在電界調査

1.2GHz帯潜在電界調査

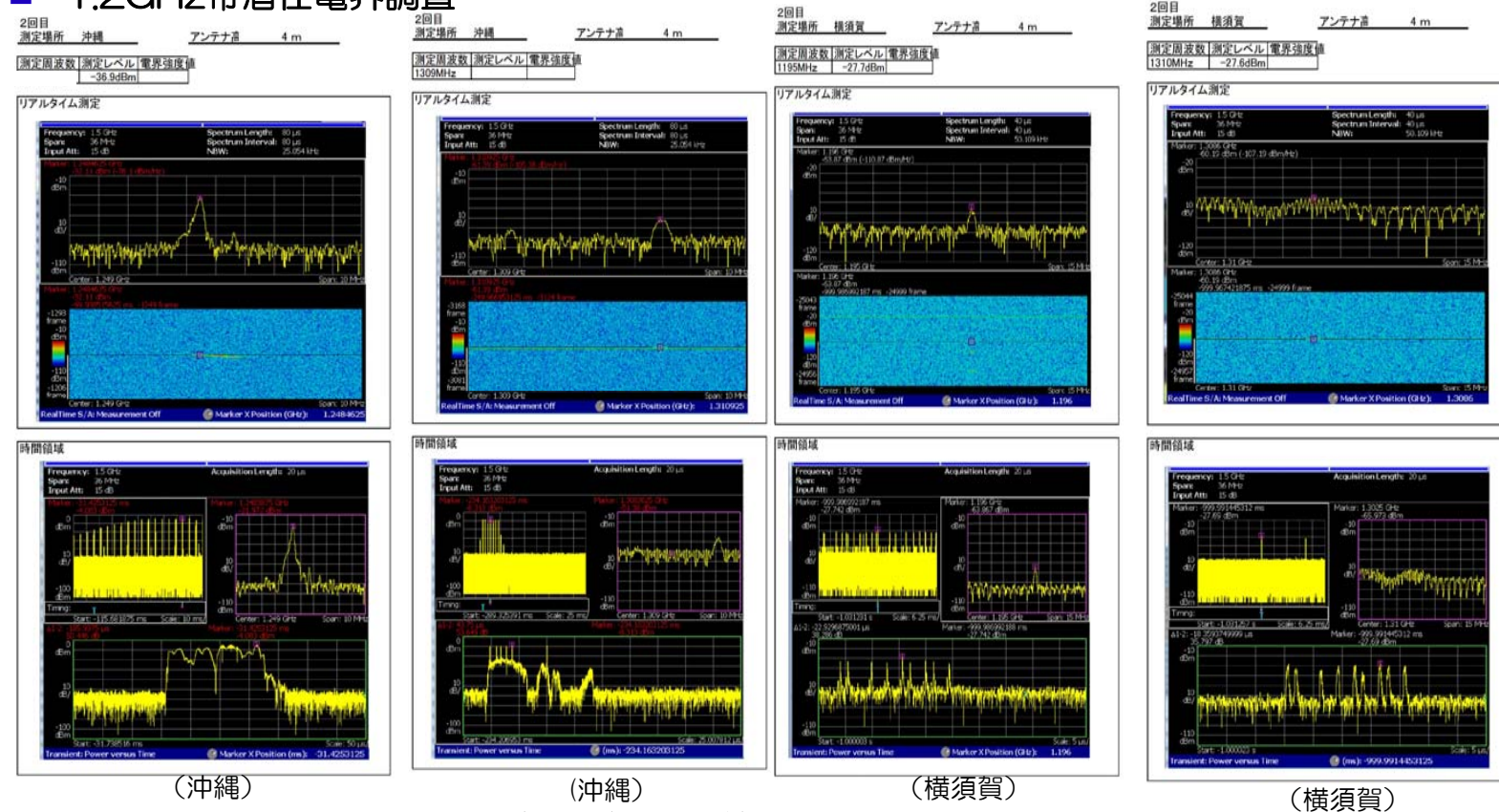


図1 1.2GHz帯電界調査結果例

測定結果 (1.2GHz帯)

1.2GHz帯では、1190MHzから1350MHzまでの測定を行った。到来波の状況は測定箇所によって異なるが、無線通信的な到来波が確認された。また、一部の箇所でレーダ波と思われる到来波が観測された。レーダ波は周期的に到来する特徴があるため、到来の瞬間を確認するために、リアルタイムスペクトラムアナライザを使用し、時間軸での変化を確認した。(図1参照) 沖縄では、主に、1.2GHz帯および1.3GHz帯でレーダ波を確認した。1345MHzは航空レーダとして全国で利用されており、複数の測定箇所で見られた。それ以外のレーダ波については、沖縄と横須賀で共通して到来していたが、他の箇所では確認されなかった。

1.2GHz帯(1200~1300MHz)の帯域外ではレーダ波が多く観測された。沖縄で確認した1.2GHz帯の一部を除いては、弱い無線通信的な到来波が見られた程度であった。特定ラジオマイクの1.2GHz帯利用では、測定した場所の多くで可能であることを確認した。沖縄で観測した1.2GHz帯レーダ波は電界強度換算では95.4dB μ V/mとなり、特定ラジオマイクでの利用には注意が必要である。

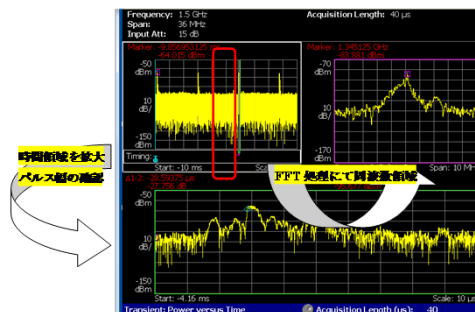


図2 時間解析モード測定の例 (ARSR波 周波数1345MHz)